

## 体脂肪率は 10% 冬鳥 ツグミ

お昼前頃、なにげなく校庭を見ると、鳥の影がありました。あれはムクドリかな？ ちょっと雰囲気が違うなと思い、観察すると、胸を張って立つ姿や目の上にある白い眉、胸のうろこ模様は、どうやらツグミのようです。しかし色がすこし違う（うすい）よう気がしたので図鑑でしらべると、個体差のようです。

この鳥もジョウビタキと同じ冬鳥（冬を日本で過ごす渡り鳥）で10月頃にやって来て、3月頃にはシベリヤなどに戻って繁殖をします。「ジジッ、ジジッ クィクィ クワッ クワッ（地鳴き）」という声ですが、繁殖期以外はほとんど鳴きません。これが和名の由来との説があります。繁殖期のさえずりは「キュッキュー キュイキュイ キョロロロ キョケツツ」という可愛らしいとのことですが、日本に居る頃は、繁殖期でないので、なかなか聞けません。

●ツグミ スズメ目ヒタキ科《撮影日/場所：R3,2,19・20 清瀬二中》



大きさは約 25cm でムクドリ位です。10 月頃にシベリヤやカムチャッカ半島あたりからやって来る時は大群なのですが、日本に到着すると、バラバラになって、単独で生活をします。そして春、シベリヤに戻る頃にまた大群になって飛び立ちます。だんだんと集まってくるとそろそろ旅支度ということのようです。

### 特徴

- 胸を張って立ち止まり姿勢が独特ですね。ぴょんぴょんと跳ねるように速足で数歩あるいては、胸を反らして止まって回りを警戒してまた歩くことを繰り返します。「だるまさんが転んだ」をしているようで可愛いです。
- 外見は、目の上にある白い（クリーム色）眉毛（眉斑）が目立ち、正面からみるとなかなか精悍な顔立ちです。
- 胸と腹の鱗（うろこ）のような模様も目立ちます、くちばしは黄色で先端が黒くなっています。
- 翼の色などは、赤茶の濃いものから薄いものまで個体差が大きく、図鑑によっては、体色が薄いメスで、濃いのがオスと説明しているものもありますが、基本は雌雄同色で、外見からは識別が難しいようです。
- 木の実からミミズまで何でも食べて、長旅に向けて栄養を蓄えるために体脂肪率をあげるようです。

### 【関連動画】

①都市公園の野鳥 中学校 NHK for School

[https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das\\_id=D0005401145\\_00000](https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005401145_00000)

②冬の野鳥かんさつ NHK for School

[https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das\\_id=D0005300653\\_00000&p=box](https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005300653_00000&p=box)

①



②

